

証券コード：2397

第20期 事業報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

 株式会社DNAチップ研究所

株主の皆様へ



代表取締役社長の
場 亮

生活に活かされようとしています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノムのエキスパートとして優れた技術開発をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、診断事業へ展開し、情報化時代に即した、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により、がん・生活習慣病・精神疾患等の個別化医療実現を目指し、誰もが健やかに、幸せに暮らせるための診断ツール開発を行ってまいりました。

当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速懸念や、海外経済の動向と政策に関する不確実性などもあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻くライフサイエンス分野におきましては、近年、ヒトiPS細胞関連の臨床試験が盛んに行われており、再生医療の実用化が本格化してきました。また、再生医療分野に異業種を含めた様々な企業が参入するなど、再生医療の産業化が本格的なステージに入ってきました。今後、再生医療分野の市場規模は大きく拡大することが予測されております。

最新のがん治療におきましては、従来の三大治療である「手術（外科治療）」、「薬物治療（抗がん剤治療）」、「放射線治療」に加えて、「免疫療法（体の中に侵入した異物を排除するために、生まれながらに備えている能力を高め、がんの治療を行う方法）」が注目されています。近年、免疫療法に用いる「免疫チェックポイント阻害剤」が医薬品として承認され、従来自由診療であった免疫療法による治療が一部保険診療可能となり、患者負担が少なく治療を受けることが可能になりました。

また、遺伝子解析技術の向上により、今後がん予防や治療に新たな展開が期待されております。当社におきましても、血液を用いて肺がんの遺伝子変

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の遺伝子を中心としたバイオテクノロジー技術の進歩は目覚ましく、それらを利用した新しい発見や研究成果などから、医療分野への応用が広がっています。一方で、世界的な超高齢社会を迎えるにあたり、我々は、労働力の減少、年金や社会保障の問題など、様々な社会問題を抱えています。特に、国民医療費は年々増加し、国の財政の多くを占めており、これを解決するためには、予防医療のための（病にならないための）新しい診断ツール開発が期待されています。現在、大量のゲノム遺伝子情報が取得できる時代になってきています。その情報が、研究分野にとどまらず個々の健康や

異検査を行う、「EGFR-NGS Check」の薬事承認・保険収載を最優先事項として取り組んでおります。

このような状況下において当社は、方針を「開発力強化と事業化加速」と定め、研究受託事業の成長と診断事業における「EGFR-NGS Check」の事業化に取り組んでおります。

この結果、当期の売上高は、360百万円（前期比99.4%）、営業損失は99百万円で、経常損失は103百万円、当期純損失は104百万円となりました。

研究受託事業

研究受託事業におきましては、主な事業として受託解析サービスを行っております。大学や研究機関、製薬・食品会社等を主要な顧客として、遺伝子関連解析のサービスや解析結果の統計処理のサービスを提供しております。主なサービスは、マイクロアレイ受託解析サービスと次世代シーケンス受託解析サービスがあります。共に、製薬・食品会社、大学、研究機関等の顧客に対し積極的な提案型営業を行うとともに、きめ細かなフォローを推進しております。また、各種受託解析の実績から顧客の目的に合わせた実験デザインの提案、データ解析及びサポートに力を入れるとともに、顧客ニーズに合わせた新規サービスメニューの拡充を図っております。

次世代シーケンスと並び注目を集める遺伝子解析として、「デジタルPCR受託サービス」や独自の「再生医療研究分野に向けた間葉系幹細胞の品質評価解析サービス（C3チェックサービス）」等新規サービスを展開しております。

いずれのサービスにつきましても、他社との差別化を意識し、クオリティの高い内容をお客様に提供すべく取り組んでおります。

その結果、当期売上高は、315百万円（前期比98.9%）となりました。

診断事業

診断事業におきましては、血液を用いて肺がんの遺伝子変異を検査する「EGFR-NGS Check」の市場への普及を当社の最優先事項として取り組んでおります。現在この検査の薬事承認、保険収載を目指した活動を行っております。

また、同時に遺伝子解析を用いた関節リウマチの薬剤効果予測検査、うつ病の診断技術の開発も積極的に進めております。

その結果、当期の売上高は、45百万円（前期比103.1%）となりました。

2019年6月

代表取締役社長の
場 亮

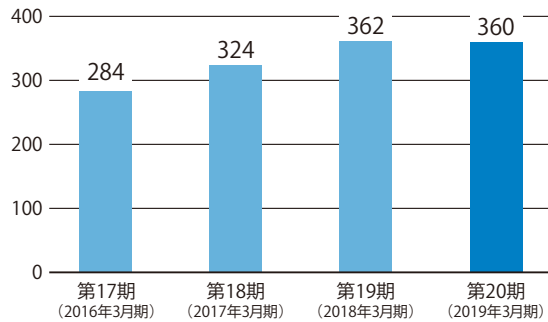
Contents

- 株主の皆様へ 1
- 財務諸表 3
- 事業の内容 5
- 会社の概況 6



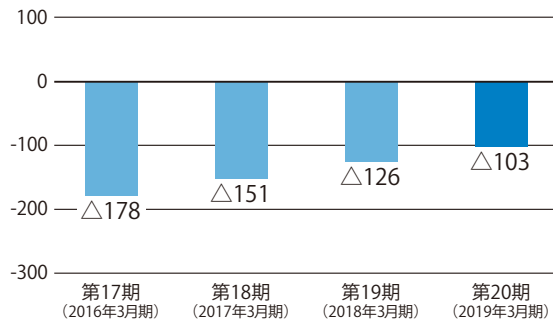
売上高

(単位：百万円)



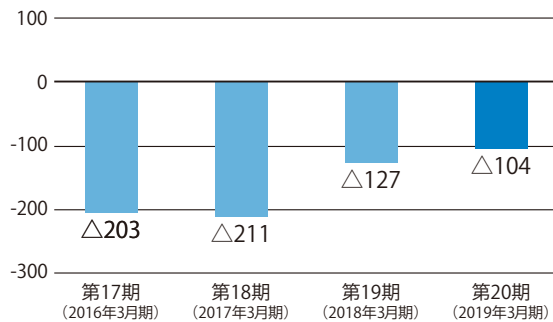
経常利益

(単位：百万円)



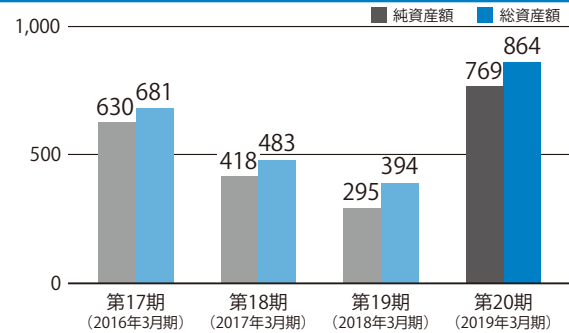
当期純利益

(単位：百万円)



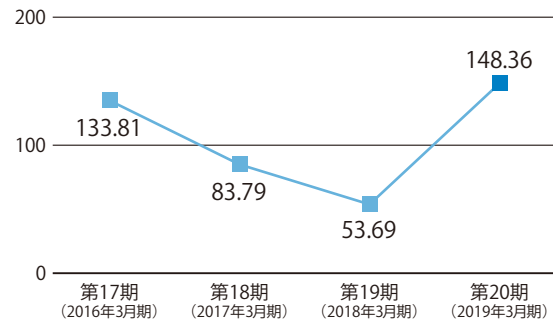
純資産額／総資産額

(単位：百万円)



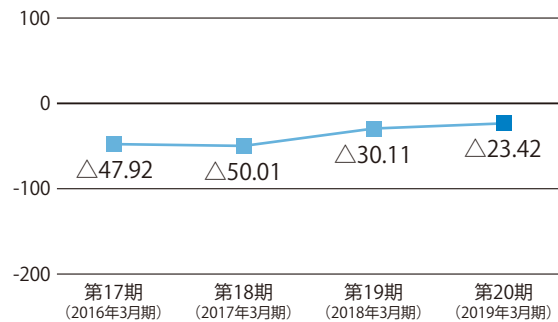
1株当たり純資産額

(単位：円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 2018年3月31日	当事業年度 2019年3月31日	科目	前事業年度 2018年3月31日	当事業年度 2019年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	364,827	810,360	流動負債	93,054	88,969
現金及び預金	220,436	658,009	買掛金	52,322	48,161
受取手形	24,112	21,977	未払法人税等	8,225	5,150
売掛金	104,694	112,643	未払消費税等	1,458	4,928
商品	905	0	未払費用	24,785	25,167
仕掛品	807	5,909	未払金	3,359	2,893
貯蔵品	4,612	5,780	預り金	2,902	2,668
前払費用	7,539	5,455	固定負債	6,196	6,636
その他	1,718	583	退職給付引当金	6,196	6,636
固定資産	29,594	54,380	負債合計	99,250	95,606
有形固定資産	24,748	14,933	純資産の部		
建物	0	0	株主資本	227,510	755,070
工具、器具及び備品	24,748	14,933	資本金	1,400,024	416,219
無形固定資産	674	35,878	資本剰余金	1,312,574	443,798
特許権	674	578	資本準備金	1,312,574	443,798
施設利用権	0	0	利益剰余金	△2,485,019	△104,879
ソフトウェア	0	0	その他利益剰余金	△2,485,019	△104,879
ソフトウェア仮勘定	—	35,299	繰越利益剰余金	△2,485,019	△104,879
投資その他の資産	4,171	3,569	自己株式	△68	△68
投資有価証券	0	0	新株予約権	67,661	14,063
敷金	3,548	3,521	純資産合計	295,171	769,134
長期前払費用	622	47	負債及び純資産合計	394,421	864,740
資産合計	394,421	864,740			



■ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	自2017年4月1日 至2018年3月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高	362,843	360,807
売上原価	245,748	260,945
売上総利益	117,094	99,862
販売費及び一般管理費	242,122	199,396
営業損失	△125,027	△99,534
営業外収益	638	1,123
受取利息	2	2
受取賃借料	237	907
その他	398	213
営業外費用	2,243	4,903
株式交付費	—	4,096
新株予約権発行費	2,189	594
為替差損	53	212
経常損失	△126,632	△103,314
特別利益	2	13
固定資産売却益	2	13
特別損失	0	1,287
特別退職金	—	1,287
その他	0	0
税引前当期純損失	△126,629	△104,588
法人税、住民税及び事業税	950	290
当期純損失	△127,579	△104,878

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	自2017年4月1日 至2018年3月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△102,930	△89,524
投資活動による キャッシュ・フロー	△29,657	△37,348
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,189	564,445
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△134,777	437,573
現金及び現金同等物の 期首残高	355,213	220,436
現金及び現金同等物の 期末残高	220,436	658,009

■ 株主資本等変動計算書

(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本							自己株式	株 主 資 本 合 計	新株予約権	純資産合計
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金		株 主 資 本 合 計				
		資本準備金	その他資本 剰 余 金	資本剰余金 合 計	その他利益 剰 余 金 繰越利益 剰 余 金	利益剰余金 合 計					
当期首残高	1,400,024	1,312,574	—	1,312,574	△2,485,019	△2,485,019	△68	227,510	67,661	295,171	
当期変動額											
新株の発行 (新株予約権の行使)	316,219	316,219	—	316,219	—	—	—	632,439	—	632,439	
資本金から剰余金への振替	△1,300,024	—	1,300,024	1,300,024	—	—	—	—	—	—	
準備金から剰余金への振替	—	△1,184,995	1,184,995	—	—	—	—	—	—	—	
欠損填補	—	—	△2,485,019	△2,485,019	2,485,019	2,485,019	—	—	—	—	
当期純損失(△)	—	—	—	—	△104,878	△104,878	—	△104,878	—	△104,878	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△53,597	△53,597	
当期変動額合計	△983,804	△868,775	—	△868,775	2,380,140	2,380,140	—	527,560	△53,597	473,963	
当期末残高	416,219	443,798	—	443,798	△104,879	△104,879	△68	755,070	14,063	769,134	

事業の内容

■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

■ 研究テーマ

→ RNAチェック™

- ・関節リウマチ薬剤効果予測、疾患マーカー探索
- ・うつ病マーカー探索
- ・免疫年齢

→ DNAチェック


- ・高感度な肺癌遺伝子変異検査パネルの開発

■ 受託サービス

異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。

- ・マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析
- ・次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、Small RNA解析、エクソーム解析、メチレーション解析
- ・Real Time PCR、デジタルPCRによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム解析
- ・統計解析サービス

■ 診断事業（研究用）

- ・  Mammaprint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス
- ・ NOIRシーケンス：分子バーコード技術による高感度変異検出（リキッドバイオプシー）

■ 製品

- ・  ハイブリッド先生 教育用DNAチップ教材
- ・  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット

会社の概況

■ 会社概要

会社名 株式会社 DNAチップ研究所
英文名 DNA Chip Research Inc.
設立年月日 1999年4月1日
住所 東京都港区海岸一丁目15番1号
資本金 41,621万円
従業員 29名 (内Ph.D. 8名 役員含)
役員 代表取締役社長 的場 亮
取締役 佐藤 慶治
取締役 (監査等委員) 山田 國夫
取締役 (監査等委員) 片山 登喜男
取締役 (監査等委員) 佐藤 高明
加盟団体 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)
NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMCA) 等

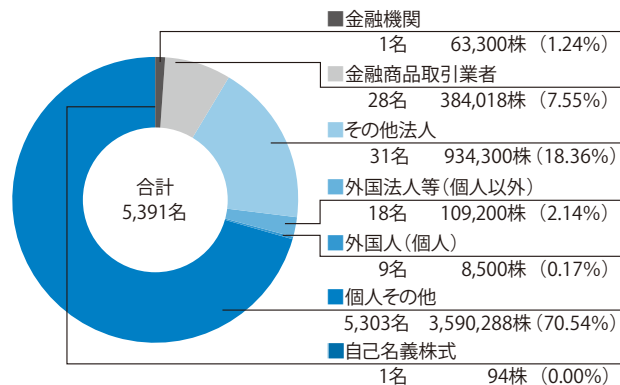
■ 株式の状況

①発行可能株式総数 10,080,000株
②発行済株式総数 5,089,700株
(自己株式94株含む)
③株主数 5,391名

■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社 エンプラス	848,000株	16.66%
藤井 衛	170,000株	3.34%
枝松 七郎	84,400株	1.65%
森 淳彦	79,000株	1.55%
藤尾 晋作	69,000株	1.35%
日本証券金融株式会社	63,300株	1.24%
株式会社 SBI証券	50,562株	0.99%
戸島 和博	47,400株	0.93%
松井証券株式会社	47,300株	0.92%
株式会社ライブスター証券	46,500株	0.91%

■ 株主分布状況



■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告
電子公告は当社のホームページに記載しております。
ホームページアドレス
(<https://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京証券代行株式会社
東京都千代田区大手町二丁目6番2号
（日本ビル4階）

（郵便物送付先） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711（通話料無料）

・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

（ご案内）

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 当社ホームページのトップ画面



<https://www.dna-chip.co.jp/>